

兵庫県 の 地震 活動

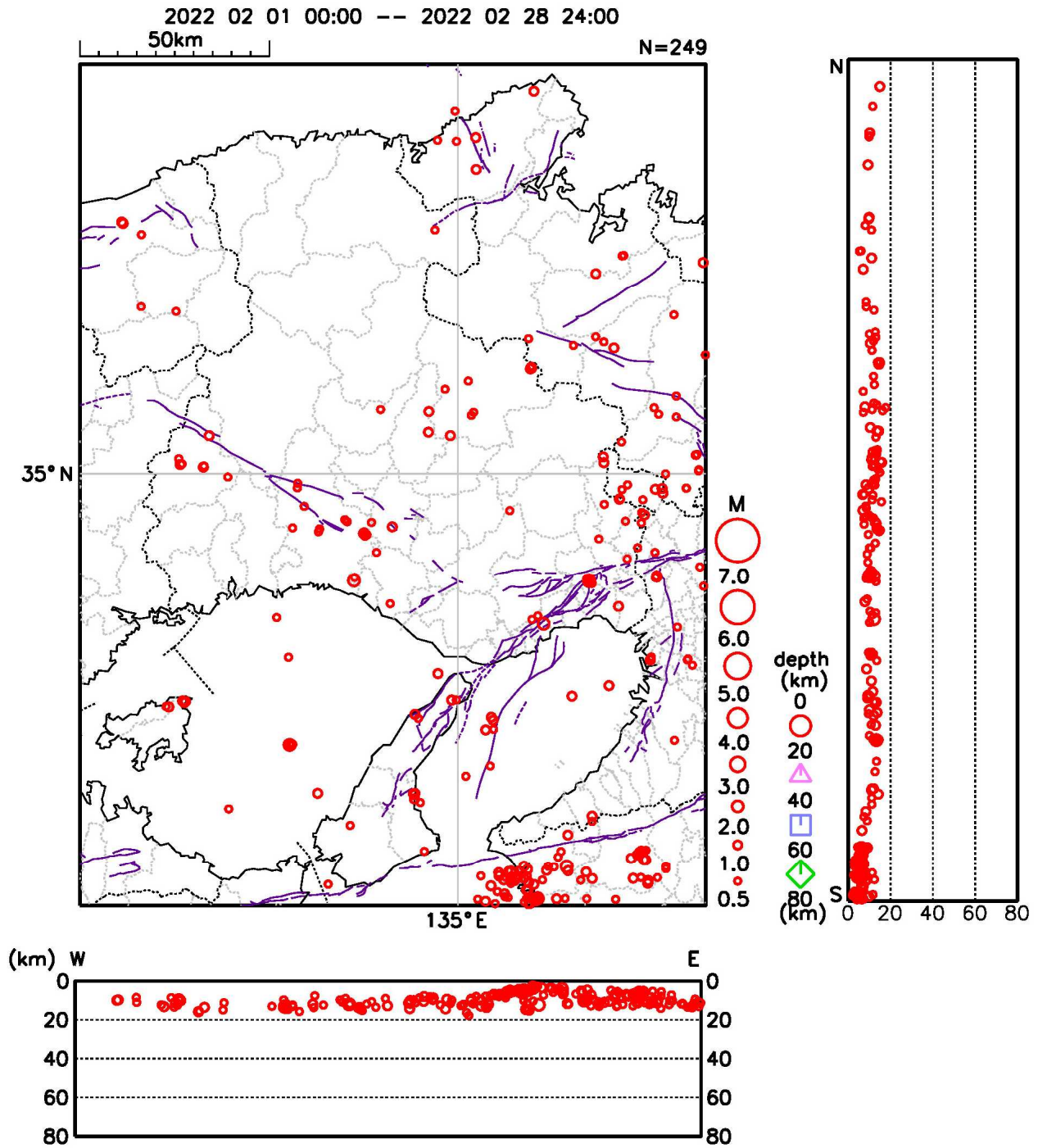
2022 年（令和 4 年） 2 月

震央分布図・断面図	1
概況	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	3
一口メモ	
南海トラフ地震に関連する情報について	4

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
 注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

―― 2月の概況――

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を1回観測しました。

26日10時35分 紀伊水道の地震（深さ43km、M3.5）により、洲本市、南あわじ市で震度1を観測しました。

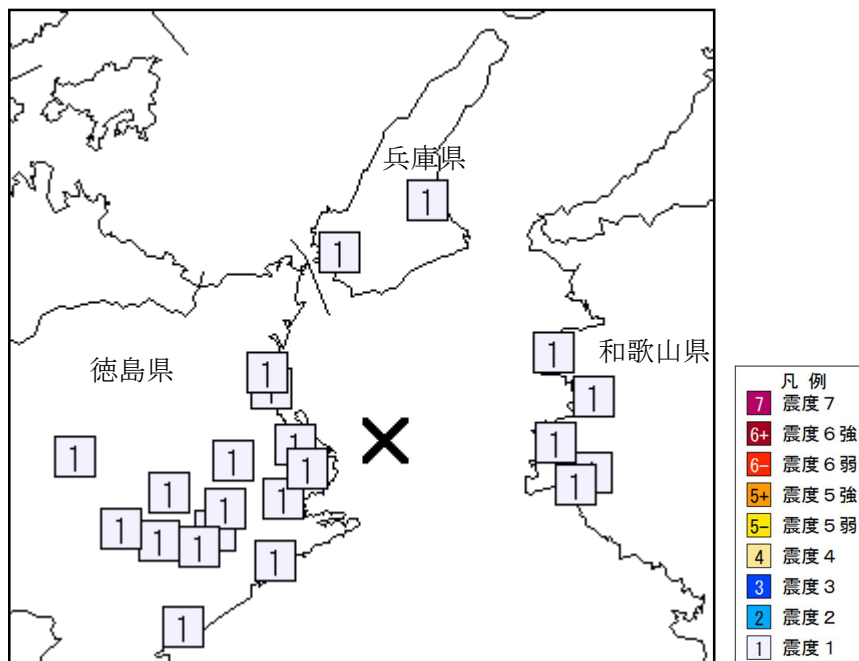
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード*	全国最大震度
各地の震度（兵庫県内）						
2月26日 10時35分	紀伊水道	33° 57.5'	134° 47.9'	43km	M3.5	震度1
震度1：洲本市物部,南あわじ市福良						

震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

2月26日10時35分に発生した、紀伊水道の地震による震度分布図。×印は震央を表す。



南海トラフ地震は前回の発生から 70 年以上が経過しており、次の発生の切迫性が高まっています。気象庁では、南海トラフ巨大地震の想定震源域を対象に地震発生の可能性の高まりについて「南海トラフ地震に関連する情報」によりお知らせします。今月は、この情報について解説します。

【 「南海トラフ地震に関連する情報」の種類と発表条件 】

「南海トラフ地震に関連する情報」には、以下の 2 種類の情報があります。

情報名	発表条件
南海トラフ地震 臨時情報	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震 関連解説情報	<ul style="list-style-type: none"> ・観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ・「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く）

【 「南海トラフ地震臨時情報」の発表基準 】

「南海トラフ地震臨時情報」は、調査を開始した場合に「調査中」というキーワードを付け、地震発生から概ね 5～30 分程度で発表します。調査を開始する基準は、

- ① 南海トラフの想定震源域またはその周辺で、M6.8 以上の地震が発生した場合
- ② 南海トラフの想定震源域のプレート境界面で通常と異なるゆっくりすべり*の発生可能性がある場合
- ③ 想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測された場合

となっています。令和 4 年 1 月 22 日に発生した日向灘の地震では、①に示す M6.8 という地震の規模に達していなかったことから、本情報の発表には至りませんでした。

* 南海トラフ地震とゆっくりすべりの関連については 2020 年 5 月号の一口メモを参照ください。

【 「南海トラフ地震臨時情報」のキーワードと防災対応 】

調査結果は、「南海トラフ地震臨時情報」に以下のいずれかのキーワードを付記し、地震発生から概ね 1～2 時間後に発表します。また、その時とるべき防災対応は表のとおりです。いつ発生するかわからない、いつ発生してもおかしくないことに留意し、地震が起こった場合は命を守る行動を最優先に、気象庁が発表する情報の適切な活用と防災対応をよろしくお願いします。

キーワード	キーワードを付記する条件	防災対応
巨大地震警戒	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード 8.0 以上の地震が発生した場合	日頃からの地震への備えを確認、津波からの避難が間に合わない場合は事前避難
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> ・モーメントマグニチュード 7.0 以上の地震が発生した場合 ・想定震源域内のプレート境界で、通常とは異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合 	日頃からの地震への備えを確認
調査終了	(巨大地震警戒)、(巨大地震注意)のいずれにも当てはまらないと評価した場合	通常の生活